

研修主題

中1ギャップの解消を図る小中連携のあり方
～児童・生徒の不安感に寄り添った実践を通して～

1 学習指導 15:10～

(1) 外国語活動と英語について

中：中学校では633語小学校で終了しているものとして中学校の学習をスタートするとなっている。

can, play, want to～はすでに既習済み（中1では4月、6月に扱う）
アルファベットはヘボン式（chi, tsu など）を扱っている。

小：小学校の国語では「」（光村図書）を使うとき、行をかえるとき、
次の行の一ますあけることになっているが。中学校ではあけていない。
そのことに子どもたちはとまどっていないか・・・。

中：ローマ字は「日本語」である。ローマ字が英語の邪魔をすることもある。

小：ローマ字が入口。ないがしろにはできないが、ローマ字と英語の違いも教えている。

中：月名、曜日名がよく（中1は）言える。ALTにもものおじせず、話せている。
現小5が中学校にあがる時に中学校の教科書がフィットすると言われている。

<高校入試問題の変更について>

読み物の陵が増加。自分の言葉で表現する問題も増加。正確な表記も求められている。文章が増えている（スピードを求められている。）

2 ICTの活用と現状

小：ロイロノート、マイクロソフトチームズ、学びポケット、たくさんのコンテンツが入ってきて係の先生は大変である。

西小：ロイロノートの活用。1、2年は7月以降。3年以上は活用。理科の写真を撮る。成長記録を付箋につける。児童がデータを提出することで担任が確認。

「学校楽しーと」もロイロノートを活用（入力不要）

多くの生徒がタッチペンを持っているが、ドリルや手書きの時活用している。

東小：パソコン室のタブレットも使用。

心の問題で教室に入れない子や濃厚接触者はチームスを使って授業に参加。

中：中学校は1人1台2、3年生はあるWi-Fiが繋がらない家もある。

貸出Wi-Fiルーターは中学校はない。

小：総学校は無料で60個くらいルーターがある。Wi-Fiがつながるように昨年工事済。

小：生徒間共有は教師側からの指導が必要（ルールも必要）

一番近いアクセスポイントにアクセスする。電源が夜中に自動で入る設定になる。各自が登校後タブレットを保管庫から出すとアクセス集中を避けられる。

③ 学習のきまり

中：「6月中旬アンケートより」

□学校生活で困っていること

- ・給食時間が少ない。・小学校より10分短い。
- ・学習内容が難しい。・スピードが速いなど・・・。

中学校ではテストを受けるときにテスト三原則を張り出し確認する。

中学校ではシャープペンシルはOK。

中：自分からなかなか動けない。中学校では「2分前着席」「1分前黙想」

中1がなかなか次の行動に動かないところもある。

小：小学校では安全確保のために、担任が引率して特別教室に連れていく。

小：小学校がどこまで中学校に寄せていくのか。

中1の1学期をどのように指導されているか。

中：中1と中3の違いは大きい。

2 < 16:10～16:35まで情報交換（個人）>

3 校長講話

- ・中学校ルーターは20個ない。
- ・タブレット使用不可の物がある。→リモート使用できていない。
- ・スマホは持たせない。買わせない。
- ・ジェンダーの対応も今後の課題。
- ・2, 3年生はあいさつはできているが, 1年生は今後できるようになる。
- ・中学校も小学校に寄せていく必要がある, 4月は5分給食時間を伸ばすなど。
- ・中学校なりの問題があるが, 小学校の情報ありがたい。
- ・小学校の指導はきめ細かい。もちろん指導内容の違いはあるが, 学ぶべきところは多い。
- ・子どもの実態をよい点, 課題をつかんで指導する必要がある。